

令和8年度 後志森林室立木販売重点目標

後志 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

地域の需要に応じた原木の安定供給や林業事業体の計画的な雇用の確保を図るため、地域の素材生産を担う林業事業体の育成を目的とした、長期安定供給販売を実施するとともに、道有林内の一定の地域において複数年にわたって、造林や保育、伐採などの森林整備を目的とした伐採・造林複合協定型森林整備事業を実施する。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

台風等による風倒被害木の整理や林道・施業道沿いのかぶり木の低質材を積極的に販売するほか、林地未利用材の発生状況を公表し、オープンカウンター販売などで、木質バイオマス原料の安定供給に努める。

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)
(記載例)

(1) 総販売量

34,400 m³

○一般競争入札

17,300 m³

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

0 m³

○協定販売

0 m³ (うち新規 0 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
0m ³	0m ³	0m ³	0m ³

○長期安定供給販売

5,300 m³ (うち新規 0 m³)

○伐採造林一体型森林整備事業

2,600 m³ (うち新規 0 m³)

○その他販売

9,200 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。